

## クローズアップインタビュー

## 令和元年春の褒章

## 黄綬褒章受章

## 舟波 孝夫さん(59歳)



高浜市在住の舟波孝夫さん(株)ジェイテクト田戸岬工場)が、長年フライス盤工として職務に精励された姿が評価され「その道一筋に業務に精励し衆民の模範となる方」を対象とする黄綬褒章を受章されました。職場では「常に前向きでバイタリティーある先輩」と評され、高浜市内の地域活動にも積極的に参加してこられた舟波さんにインタビューしました。

## 主な略歴

昭和54年 豊田工機(株)入社  
 ※平成18年(株)ジェイテクトに社名変更  
 平成6年 科学技術庁長官賞(NC旋盤の部)  
 平成22年~25年 愛知県技能検定委員  
 平成23年 愛知の名工 愛知県優秀技能者表彰(知事賞)  
 平成25年 現代の名工 卓越した技能者表彰(厚生労働大臣表彰)  
 令和元年 黄綬褒章受章

## 受章の感想

受章の知らせには大変驚きました。こういった受章は、なにかを極めた方が受けるものと思っていましたので。勤務先の工場からは初の受章ということでは喜ばれましたし、新聞で

## 仕事と受章のきっかけ

紹介されてからはいろいろな方からお祝いの言葉をいただき、とてもありがたく名誉なことと思っています。

平成3年から今の工場に移り、ちょうど新しいラインが立ちあがったので担当することになりました。その後、ながくC V J(等速ジョイント)という自動車部品の製造に携わりました。複合マシニング、旋盤の合体化など工具が変化を遂げるなか、新工法の勉強を重ね、それに対応できる人材づくりにも務めてきました。現場で経験しながら職人的に学んだ時代から、NC加工の技術が大きく発展して複雑なものの製造が可能になり、ラインが革新的に変化するなか、さまざま加工に挑戦しながらコスト減にも取り組みました。結果としてC V Jのラインで20年以上、技術が大きく革新化する時代を田戸岬工場で過ごしてきたといえます。

工場内には、鍛造材料から、機械加工、組立、とさまざまな工程があり、それぞれの全貌を踏まえて仕事をします。私にとっては、そこにもづくりのおもしろさがあります。そのうえで「カイゼン」という問題解決とコスト減につながる部分、こ

## 若い人へ

「ものづくりはひとつづくり」といいます。仕事も結局は「ひとつ」がやるものです。ものづくりのおもしろさ、挑戦と改善の繰り返しで成果につながるこの醍醐味を伝えたいです。

## 地域活動

結婚後に妻の実家のある高浜市に住みはじめました。翼小学校の初代PTA会長さんに、初のサラリーマン会長に挑戦してはと勧められ平成18年度に4代目を務めました。娘の卒業式でPTA会長としてスピーチしたことは忘れられない思い出で、いまも「飛翔とばたの会」※とはつながっています。また、町内会の防災部長も務めました。この経験をとおしていろいろな方と知り合えたのはとてもよかったです。今後も地域活動に関わっていきたいと思っています。

※翼小学校の保護者の会